

第 363 回塑性加工シンポジウム 「大変革を進める自動車産業に対応するプレス、鍛造技術」

日 時：2026 年 1 月 20 日(火) 10:00～16:50

会 場：名古屋工業大学、4 号館ホール [名古屋市昭和区御器所町] アクセスマップ：<http://www.nitech.ac.jp/access/print.html>

交 通：JR 中央本線 鶴舞駅名大病院口から東へ約 400m, 地下鉄桜通線 吹上駅 5 番出口から西へ約 900m

主 催：日本塑性加工学会（実行：鍛造分科会）

協 賛：日本機械学会、日本鉄鋼協会、自動車技術会、軽金属学会、精密工学会、型技術協会、日本アルミニウム協会、
日本鍛造協会、日本ねじ工業協会、アルミニウム鍛造技術会、日本金属プレス工業協会

趣 旨：CASE (Connected/Autonomous/Shared/Electric) の概念が胎動することにより、世界の自動車産業は大変革の時代を迎えている。EV 化の展開に関する展望においても、今までとは異なる方向の慎重な見方が広がっており、将来に向けた不確定さの拡大と共に、それに対応するための新しい技術的なニーズが高まっている。本シンポジウムでは、大変革を進めている自動車産業の状況と展望、そしてその変化に対応するためのプレスおよび鍛造技術の動向について解説する。

プログラム：開会の辞 (10:00～10:05)

日本塑性加工学会 鍛造分科会主査 松本 良君

午前の部 (10:00～12:15)

司 会 (株)ヤマナカボーキン 金 秀英君

午後の部 (13:15～16:50)

司 会 (株)ニチダイ 村井 映介君

時 間	内 容	講 師
10:05～10:50	世界(米国・中国・ドイツ・タイ)の自動車事情—EV はプラト—か、オワコンか： EV は世界の潮流と言われてきたが 2025 年に入り停滞している。自動車産業の動向は、技術要因に加え、政治状況にも左右される。各国政治状況を押さえ、2035 年までのクリーン内燃機関車と EV の販売動向を予測、生産でのガキキャスト化、アルミ化等の予測もしたい。	元大阪産業大学 前川 佳徳 君
10:50～11:35	電動車駆動モータへの塑性加工の貢献： 電動車の普及に伴い駆動モータの需要が急増している。その構成部品の多くは塑性加工で製造され、その重要性が高まっている。本講演では、各部品の塑性加工の課題と技術的貢献ポイントについて解説する。	日産自動車(株) 藤川 真一郎 君
11:35～12:15	高強度アルミニウム熱間鍛造の新プロセスの開発： クルマを通して世の中に幸せを提供し続けるためには、環境負荷増大などのクルマのマイナスの面を抑制し、運転の楽しさや快適性などプラスの面を増大していくことが必要であると考えられる。そのために、①カーボンニュートラル、②サーキュラーエコノミー、③軽量化の 3 つを同時に成立させる『高強度アルミニウム熱間鍛造の新プロセス』を開発したので 報告する。	トヨタ自動車(株) 五十川 雅之 君
12:15～13:15	昼 食・休 憩	
13:15～13:55	EV を支える高性能モータの高速・高精度プレス加工技術の開発： 高性能ブラシレスモータの開発で、大物積層コア部品は課題だった高速加工を、小型順送プレスの 2 台直列配置で解決。永久磁石等を固定する 2 部品は課題だった吻合精度を、高精度プレス工法で満足し量産化を実現した。	(株)デンソー プレステック 杉山 聡 君
13:55～14:35	100 年に一度の大変革に対する素形材部品の対応について： 鍛造メーカーとして 100 年余り素形材を生産してきている中、近年の自動車電動化に対し素形材の種類・求められるニーズ等も大きく変わってきている。その変化と対応について取り組んでいる事例を報告する。	(株)メタルアート 竹村 好正 君
14:35～14:50	休 憩	
14:50～15:30	eAxle の高機能化、低コスト化に貢献する塑性加工技術： 電気自動車が広く普及するためにはさらなる高機能化、低コスト化が求められる。それらを両立する駆動伝達部品、モータ部品等の塑性加工技術と動向および技術展望を考察する。	(株)アイシン 小野 一樹 君
15:30～16:10	自動車産業大改革に対応した部品開発事例： 自動車の電動化に伴う部品形状の変化や製造のカーボンニュートラルなど、ものづくりを大きく変えていく必要がある。温間鍛造による熱処理省略やシャフトの中空化工法など当社の開発事例を紹介する。	愛知製鋼(株) 島田 岳幸 君
16:10～16:30	総 合 討 論	司 会 村井 映介 君
16:30～16:50	講師を含めた名刺交換会（希望者）	

定 員：60 名（定員になり次第締切ります。）

参加費：（消費税 10%込）

正会員・賛助会員 協賛学協会個人会員	学生会員	一般	会員外学生
12,000 円	6,000 円	18,000 円	9,000 円

申込方法：学会ホームページ(<http://www.jstp.or.jp>)【行事のご案内】のページよりお申し込みください。

参加券、請求書をお送りします。

注 意：講演中の撮影・録音は禁止します。

テキストは PDF 配布の予定です。冊子による配布はいたしませんのでご注意ください。

最新の情報は、学会ホームページでお知らせします。